



2006年(平成18年度)
Vol. 7 2006. 12. 25

市保連ニュース

発行: 武蔵野市保育園父母会連合会事務局
<http://hoiku.ram.ne.jp/shihoren/> (非公式サイト)

1. 市保連の観劇会「おにくらべ」

チケットのお申し込みまだまだ受付中!

本格的な劇団による、昔話をモチーフにした
舞台劇です。ぜひご家族そろってご覧ください。

日時: 2007年2月12日(月) [祝日]

開場 13:00 開演 13:30 (終演 15:00 ごろ)

場所: 武蔵野公会堂 (吉祥寺駅南口徒歩2分、丸井の向い)

~劇終了後、ミニ演劇教室&質問コーナーを予定しております~

料金: チケット1枚 600円 (席の必要なお子さんはチケットが必要です)

お申し込み方法: 専用アドレス < onikurabe2007@yahoo.co.jp > にて受付中

件名に「①園名②クラス名③お子様氏名④希望枚数」をご入力ください。

本文はカラでOK! 携帯からも申込みできます。

残り枚数少なくなって
おります! ご希望の方
お急ぎください!!



なお、一部メールによる受付が出来ないとのお問い合わせをいただきました。

フリーメール (hotmail, infoseek, goo など) からの送信の場合、エラーがでる可能性があるよ
うです。大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、お詫び申し上げます。

お申し込みができない場合は各父母会のチケット販売窓口担当者さんまでお知らせください。

2. 学童クラブ入所アンケート 結果について

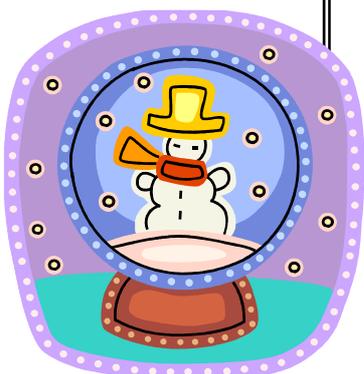
17年度・18年度に学童クラブ入所予定の各園年長・年中
保護者の皆さまに学童クラブ入所アンケートのご協力をい
ただきました。(回収率 60% 超)

土曜日の開所に一部根強い希望があることや開所時間の延
長希望 (約 40% 超) また、長期休業中の開所時間の前倒し
希望などの傾向が見られました。

集計結果の速報版を各父母会定例会担当係にお渡しいたし
ましたので、興味のある方は声をおかけください。

なお、このアンケートに先立ち、学童協 (武蔵野市学童クラ
ブ連絡協議会) が武蔵野市へ要望書を挙げていることを前回
ニュースでお伝えしましたが、回答をいただき (12/4)、そ
れをもとに学童協役員と児童青少年課とで懇談 (12/18) を
行ったとのことでした。

学童クラブに通う子どもたちが家に帰るころ、外は真っ暗です。
それは私たちが保育園に子どもを迎えに行く時間帯。
子どもたちが事件・事故に巻き込まれないように、知っている
卒園児を見かけたら保育園保護者も声をかけ、見守りましょう。



3. 要望書へのご回答をいただきました

前号でお伝えした市保連からの要望書に関して、ご回答をいただきながら市保連役員が懇談を行ってきました。(11/27)

当日は雨の中、ご担当の方々に遅くまで時間をとっていただきました。この場をお借りして感謝いたします。

以下、要点を簡単にご報告いたします。

児童の保育・育成・教育の充実に関する要望（主旨・前号紹介済み）

- ①障がい児や発達障がい児の保育に成果を挙げている保育相談員を、保育園だけでなく学童クラブ・小中学校にも配置し、保育士・指導員・教諭・保護者との連携を図っていただきたい。
- ②学童クラブにおける障がい児の育成充実のため指導員の研修や配置を見直していただきたい
- ③子どもの福祉に関わる担当部署として関係を密にし、連携機関を構築していただきたい。
- ④学童クラブに入所する児童の生活の様子などを教諭・保育士と指導員が共有できる環境を整備していただきたい。

子ども家庭部からのご回答

①保育相談員

- ・現在の1名から2名にしたいと検討している。

②指導員の研修

- ・試行として、臨床心理士に学童クラブに来ていただき、実際に子どもの様子を見ていただき、指導員に助言をしていただく方向で調整中。
- ・今回は、どこかの研修に出すということではなく、実地に近いものを検討している。

③幼稚園・小学校・中学校への保育相談員の設置。あわせて④関係部署の連携機関構築

- ・小学校には教育支援センターの臨床心理士による学校訪問相談支援、中学校にはスクールカウンセラー（臨床心理士）の配置という制度が確立しており、また SOS 支援センターもあることから、それらのネットワークを活かしていく。

いただいたご回答に対して、市保連から

①保育相談員の増員は、是非とも目指していただきたい。

②試行とはいえ、実地に近い形で研修を行なっていただけることに感謝する。

③（④を含む）部署ごとのネットワークを活かして、現場の教員・指導員などの連携の充実を目指していただきたい。保護者としても、教員・指導員などに呼びかけを行なっていきたい。

その他

- ・卒園（入所）間際の子もたちの様子に関して、保育士と指導員の連携も目指していただきたい。
- ・4月1日から、生活環境が変わってしまうことは子どもにとっても大変な負担。それを受け止める指導員側に余裕があれば、子どもにとっても指導員にとってもプラスと考える。

市保連からの意見に対して、子ども家庭部から

- ・卒園（入所）間際は保育士と指導員とも忙しい時季であり、簡単には実現できないことだが提案として受け留める。
- ・子どものためになると考えられることは、各機関と連携し実現を目指していきたい。

※保育相談員 ⇒臨床心理士。障がい児や「手の掛かる子」「気になる子」と保育士がどう向き合っていけば良いのか。その相談と助言をするのが主目的



この冬はノロウィルスが猛威を振るっているとのこと。皆さん体調に気をつけ、元気にお過ごしください。